

「清心」

文責 校長 中原弘之

学校教育目標 「学校と地域を愛し、知・徳・体の調和のとれた児童の育成」

2 学期制の実施

本市では、次のことなどを主なねらいとし、平成18年4月より市立全小・中学校で2学期制を実施しています。（平成16年度・17年度から実施したモデル校もあります。）

3学期より2学期という大きなスパン（期間）で区切ることにより、余裕を持った生活や学習が可能になる。このことで、次のような効果が考えられる。

- ① 年間授業時数が増え、児童・生徒と教師がじっくり向き合って学習できる。
（行事等の精選と合わせ20時間程度授業時数が増えました。）
- ② 長期休業日の教育相談等を生かして、個に応じた指導が充実する。
（本校でも、7月24日～26日に個人面談を予定しています。）
- ③ 長いスパン（期間）のなかで、より確かな評価ができる。
（3学期制では、1学期約70日・2学期約80日・3学期約50日でしたが、
2学期制では、前期約100日・後期約100日となりました。）

本市においては、2学期制実施から10年以上が経過し、2学期制のこれまでの取組状況や課題を明らかにし、今後の学期制の在り方について総合的に検証するための委員会が開催され、検討がなされています。

学期制については、様々な考え方や感じ方がありますが、本校においては、2学期制のよさを生かしながら、今後も教育活動を展開してまいります。

加配教員の効果

本校では、学級数による定数の教員に加え、次の加配教員が配置されています。

- ① 英語専科加配…3・4年生の外国語活動、5・6年生の外国語の指導を主に行い、外国語（英語）の能力向上を図ります。
- ② 児童生徒支援加配…特別支援教育や日本語指導が必要な児童の支援などを主に行い、個に応じた支援の充実を図ります。

このほかにも、市の少人数指導非常勤講師や特別支援教育補助指導員、学校司書の配置もあり、教育活動の充実に努めています。

※ 前号の祇園歴史の旅（その4）と記載していましたが、正しくは（その5）でした。お詫びして訂正いたします。

祇園歴史の旅（その6）「校歌の決定過程」

校長室に掲示されている額の中に、次のような記載があります。

「校歌決定過程」 校区・OB・関係者に祇園小学校校歌の公募をお願いし、集まった15点の中から光園小学校OB河野左千子さん（旧姓で応募）の作詞イメージを基に、光園小今道昭哉PTA会長、戸尾小力武和裕PTA会長、光園小野茂政昭校長、戸尾小徳永彰校長が補作し、佐世保在住の作曲家七田英明氏（光園小学校OB）に作曲を依頼して完成、校歌として決定した。 平成13年4月

作詞者、作曲者、関係者の皆様の思いを受け継ぎながら今後も歌い続けてまいります。